

わたしの 妊娠報告書

記載日 年 月 日

おめでた宣言日	H 24 年 10 月
年齢 (29) 歳	平成 (20) 年 (10) 月 結婚
私は (顕微鏡受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(3) 年 () ヶ月
他院での治療歴	<input checked="" type="checkbox"/> なし あり→内容 ()
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回) ?
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 (/) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

何かしないといけないと思いつつ 何も特別なことは
しなかった。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

体外・顕微鏡受精をする為に薬を服用していたが副作用で頭が痛かったり、採卵の後おなか痛かったり... とりあえず痛い思いを何回もしては気がする。耐えられるくらいですが...
でもやっぱり何より精神面が一番しんどかった。

その他 (通院・治療費・家族など)

通院し始めた頃は正社員で働いていたが治療がステップアップするにつれてフルで働くのがきびしくなってきた(個人医院で職員が少ない為休めたい)退職しパートで働き始めたがシフトと体外受精のタイミングがうまくいかず退職。治療費が段々上がっていくのに収入が減っていくというのが正直だった。

治療中の方へのアドバイス

考えすぎない。
ストレスためない。
やりたいことやって楽しむ。

スタッフへのご意見など

3年間という長い目だった為、ずっとつらかったけど先生、スタッフの方々が親切に接してくれたり、心配事があったらすぐ診察していただいたりしてほんとに元氣張れました。
ありがとうございました。